

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1160	(H.24)No.	1160
-----------	------	-----------	------

事務事業名	生涯学習推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	中川 紀代美	

会計区分	事業コード	500503
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 教育費	社会教育総務費	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 社会教育総務費	生涯学習推進事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	2	豊かな心をはぐくむ生涯学習の推進
	施 策	1	生涯学習
	小 施 策	1	学習機会の総合的整備
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
市民活動を生涯学習の観点から総合的に評価し、名張市に愛着を持つ人材の育成や家庭教育の充実など、重要課題について学習機会を提供することにより、公民館活動や地域組織活動の充実に繋がります。
事業内容
公民館との機能分担を明確にしなが、生涯学習活動を全市的な規模で推進します。また、家庭教育の充実を課題として、青少年育成市民会議、PTA連合会等の組織と連携を図りながら、家庭教育講座を推進します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 市民大学講座なばり学部を開催(事業費73千円) 学校支援ボランティア養成講座・子育て支援講演会を名張市教育研究所と共催。25人参加(報償費13千円) 子育て講演会(9組参加)と家庭教育講座(26名参加)。こども支援センターかがやき、市民団体と共催で県の事業を利用し実施。 皇學館大学ふるさと講座を2回共催(延べ223人受講) 	<ul style="list-style-type: none"> 「なばり人養成塾」を実施予定(昨年度のなばり学部修了者の中からボランティアを募り協力いただく予定。(事業費200千円、県生涯学習センター助成金を活用) 家庭教育講座を実施予定。 皇學館大学ふるさと講座を2回共催予定。 	生涯学習に関する講演会を年2回程度実施。	生涯学習に関する講演会を年2回程度実施。	生涯学習に関する講演会を年2回程度実施。

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	96千円	200千円	100千円	100千円	100千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他(諸収入)	73	200			
一般財源	(0)	23	100	100	100
人工数					
職員	0.30人	0.45人	0.40人	0.40人	0.40人
臨時職員等	0.10人				
概算人件費	(0千円) 2,480千円	3,465千円	3,080千円	3,080千円	3,080千円
+ 総事業費	(0千円) 2,576千円	3,665千円	3,180千円	3,180千円	3,180千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
「市民大学講座なばり学部」は当初30人の予定で募集、78人の受講者が集まり、57人が修了しました。アンケートやミーティングで受講者の声を聞きながら進めました。受講者から発信者になるような人材を育てるしかけづくりを検討します。	昨年の事業で希望が多かった、現地学習を「なばり人養成塾」で取り入れます。また学習成果を地域に還元できるような人材育成を目指します。参加者層に配慮し、土日開催の事業を多く予定しています。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	市民一人ひとりが自らの資質向上や社会の一員として様々な活動に参画するための学習機会を提供し、学習成果を地域に還元できるよう人材育成を図りました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(実践内容を記載)	地域づくり組織が指定管理を受け運営している公民館と、全市的に発信できる内容の講座を共催していきます。今後は、定員に余裕のある公民館講座の情報発信を行っていきます。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
昨年度実施の「市民大学講座なばり学部」の修了者57人の中からボランティアを募り、学んだことを地域に発信できる人材育成を進めていきます。また、共催事業や助成事業を活用しながら、学習機会を提供できるよう工夫します。	